

闘春



JR東労組 (東日本旅客鉄道労働組合)

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-24-1
東日本旅客鉄道株式会社 代々木総合事務所 5階
電話 03-5315-0941

2021年1月1日
第718号

発行人 佐藤英樹 編集人 湯ノ目亜矢子

毎月1回20日発行/一部20円
(組合員の購読料は、組合費に含む)



JR東労組ホームページは
←こちらからアクセス
<http://www.jreu.or.jp/>



**JR東労組が組合員にとって必要とされる組織になるため、
分会運動の強化を通じて、組織強化・拡大を実現し、飛躍しよう！**

JR東労組 中央執行委員長 佐藤 英樹

JR東労組に結集されている組合員・ご家族の皆さん、明けましておめでとうございます。

私たちJR東労組は、コロナ禍での労働運動を余儀なくされ、三密を避けながらも創意工夫した職場活動を進めて参りました。しかし、新型コロナウイルスの感染が第3波で急増する中、首都圏の鉄道利用は12月上旬の平日ピーク時で73%となっており、「テレワークや時差出勤は職種によって向き不向きがあり、実施する人数が一定程度落ち着いた」との分析が報道されています。このような中、JR東日本は、通期で4180億円の最終赤字を見通し、「新しい暮らしの提案」と「新領域への挑戦」として、運輸業と非運輸業の売り上げ比を「6対4」からさらに踏み込み、「5対5」を目指すとしました。深澤社長や経営幹部は、経営体質の強化を図り、「来年度は絶対に黒字を確保する」という固い決意で、具体的には、AIの活用による設備保守費用の削減やグループ内出向などにより、雇用は維持しながらも人件費を減らしていくと述べています。私たちは、「雇用と職場を守るためのJR東労組緊急提言」を提出し、職場において創造的な実践を積み重ねてきました。新型コロナウイルスが影響した解雇・雇止めは日本全体で7万6000名を超え、雇用情勢が悪化の一途を辿っていることを見れば、JR東労組の役割は更に重要になると考えます。私たちは、厳しい環境の中で年末手当要求を組合員の生活実感から導き出し、職場からたたかひをつくり出しました。年末手当を妥結した当日の本部ホームページのアクセス数は約4万4600件にのぼり、組合員をはじめと多くの皆さんに注目されました。コロナ禍という厳しい労働環境の中で、日々奮闘している社員・組合員の声を要求に高

め、たたかひ抜くことができたことは大きな教訓になりました。私たちはこれまで、鉄道・バス・医療の安全を守ることを最大の価値基軸に据え、健全な経営基盤の確立を目指すために会社施策に向き合いながら、社会情勢や経営環境に関心をもち、「自ら行動すること」でしか道は切り拓かれないことを学びました。この間、培ってきた成果を2021年春季生活闘争や職場活動に活かすし、第一組合として雇用と生活を守るために、職場からの声を基盤に運動を展開し、要求実現のために奮闘します。現在、職場では様々な問題が発生しており、中央本部に意見が寄せられています。コロナ禍における労働環境や生活環境の改善、グループ・パートナー会社の人材確保、社員や組合員に寄り添い丁寧におこなわれているとは言えない転勤態などに対して、私たちは一つひとつの問題を正確に掴み、組合員と共にとたたかひます。

2021年は、JR東日本とJR東労組にとって大きな転換点になると考えます。JR東労組の目標は、社会情勢や経営環境を受け止め、組合員の声に基づき要求づくりと団体交渉などを通じて諸問題の解決を図り、組織力を高めることです。「JR東労組として言うべき時は言う、やるべき時はやる」ことを明確にして、組合員はもろろんのこと、18春闘の過程で脱退を余儀なくされた離脱者や未加入者の皆さんに目線に合わせて、丁寧な対話と運動を展開します。JR東労組が組合員にとって本当の意味で必要とされる組織になるために、分会運動の強化を通じて、組織強化・拡大を実現し、飛躍する一年にしようではありませんか！

組合員・ご家族の皆さん、今年一年どうぞようしくお願い致します。



**仲間の気持ちにより添い、
労働条件向上のために真摯な議論を行うJR東労組に結集しよう！**

JR総連 執行委員長 山口 浩治

組合員、ご家族のみならず、あけましておめでとうございます。昨年全世界を席巻した新型コロナウイルスは、私たちの仕事と生活を直撃しました。職場では今まで経験のない「休業」という事態とも直面しました。何よりの常に感染のリスクに向き合いながら「通常業務」を完遂していただいた仲間の皆さんに敬意を表します。

JR総連は、JR東労組が経営の根幹を揺るがす収支状況を真正面にとらえ、黒字経営の確立のために発した「緊急提言」を支持します。今後、職場の奮闘と共に、政策提言にも高めていただき、実現に向けて共に運動をつくり出していきたいと考えています。JR東労組は組織拡大・強化を最大の課題として取り組んでいます。コロナ禍での解雇、雇止めは7万人を超えました。日本全体の労働組合組織率は16%台ですから、今後の厳しい社会状況を見れば、雇用不安はさらに増大すると思われれます。JR東日本は「社員の雇用は守る」と表明していますが、労働組合が何も言わずして雇用を守るはずがありません。

そして会社が「成長投資以外の投資や費用はゼロベースから見直し、優先順位の低いものは、先送りせず縮小・中止・廃止を判断する」としている以上、労働組合が労働条件の

向上のために真摯な議論を深めていかなければ、職場の労働条件や安全レベルは現状維持もしくは悪化する可能性をはらんでいます。「何もやらずともそれなりの結果を受け取れる」というスタンスでは、労働条件は悪化の一途をたどることになります。労働組合の力のバロメータの一つは「数」です。組合員の気持ちにより添い、「安全」を絶対的価値観として職場の現実や取り巻く情勢を正しくつかんでたたくJR東労組の旗の下に結集しようではありませんか！

JR総連は2021春闘に「雇用確保」「定昇確保」「ベア要求」の3本の柱を掲げて取り組みます。具体的な要求は1月29日のJR総連第43回定期中央委員会にて決定しますが、「統一要求」「統一闘争」をめざしてたたかひ抜きます。JR東労組の仲間を結集をお願いします。2021年はコロナ禍の収束は未だに予見できず、経済活動の活性化も厳しい状況です。したがってJR各社の経営も厳しさを増す予測です。政治動向では衆議院選挙もあり、日本全体が「変化の年」を迎えると思えます。JR総連は、その中でも組合員、家族が安心して暮らせる平和な社会をめざしてたたかひ抜きます。今年一年もようしくお願いします。